

A portrait of Professor Tetsuya Takahashi, a middle-aged man with grey hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and a light blue tie. He is smiling slightly and looking directly at the camera against a plain white background.

事後保全から、事前保全に転換し、施設の適正化に努める。
全庁的に徹底し、進める。
職員の資質向上も並行して進めていく。

4 年間の一般質問の総括

今回は任期最後の議会であり、これまでの質問を総括しました。

一般質問の質問時間は30分（コロナ禍では20分）で、多くが「検討します」（≠しない）で片付けられていました。そこでその後の検討経過、結果を質しました。

質問事項はこれまでに取り上げた項目で、多岐にわたっています。紙面の都合上、一部は割愛しました。詳しくは記述できませんでしたので、「議会中継」をご覧ください。

行政計画のホームページ掲載

（質問趣旨：赤磐市が目指す計画を知りたくても、ホームページのどこにあるか全く分からない）
問 赤磐市が目指す計画、プランを例規集のようにホームページの1か所に纏めて掲載すべきではないか（R6.6議会質問）

答 第3次総合計画の策定に合わせて、これらを体系づけ、一覧性のある形でホームページに掲載する予定。

防災行政無線個別受信機の配布対象

（質問趣旨：令和6年に購入した個別受信機300台の多くが配られずに、役所の倉庫に保管されたままで、役に立っていない）

問 配布対象者が災害時避難要支援者に限られているため、多くが倉庫に眠っている。対象者を防災行政無線が聞きづらい個別受信機の希望者に拡大すべきではないか。

答 当初の配布目的を考慮しつつ、配布状況を勘案しながら検討する。



移動期日前投票所

（質問趣旨：投票所まで行けず、棄権する高齢者がいる。近くに移動投票所があれば投票機会が増え投票率が向上する）

問 前回の市長選挙の投票率はついに60%を割り込んでいる。総務省は事例紹介もして移動期日前投票所の開設に積極的に取り組むように促している。平均すれば毎年選挙がある。投票機会確保のために、移動期日前投票所を恒常的な制度として考えないか。

答 市役所や支所を中心とした市民バス等を運行しており、投票所近くに商業施設も集まっており、外出の機会に合わせて期日前投票所を利用していただけるため一定の利便性は図られていると考えているが、投票率向上のため、期日前投票所について引き続き検討する。

公共施設の予約システム

（質問趣旨：施設利用申込は未だに窓口での紙対応。DX対応が遅れている）

問 利用予定表のホームページ掲載、ウェブ予約、利用料金の電子決済等は既に多くの自治体で取り入れられている。その後の検討状況は。

答 本市の規模、施設数、利用状況を踏まえ予約管理のシステムの構築・運営に係る経費の費用対効果の検証を進める。将来的には掲載する方向に進むと認識している。

交通安全対策

(質問趣旨：視覚効果だけでは見落とし、無視による事故は防げない。スピード抑制にはハンプが一番効果的)

問 国交省もハンプの事例紹介をしている。段差の低いハンプを設置しないか。桜が丘には住宅の間から車道に出られる狭い通路があるが、知らない運転手は分からない。3D イメージハンプを設置し注意を促さないか。

答 ハンプがスピード抑制に効果があるとは認識している。3D イメージハンプも含めて設置には地域の理解、協力が不可欠であり、慎重に協議しながら対応する。



3D イメージハンプ



車から見えにくい通路

血洗の滝トイレ

(質問趣旨：努力している地域には行政としても相応の対応、協力はすべき)

問 赤磐市の観光名所の一つである血洗の滝近くの血洗の滝神社の祠が地元民の努力で再建された。観光客も増えているがトイレは閉鎖されたままになっている。市長は必要に応じて検討すると答弁されたが、その後の検討経過は。

答 これまで地域の方々に維持していただいていたが、現在諸般の事情から閉鎖している。近隣施設のトイレの利用を案内している。



桜が丘歩道の段差解消

(質問趣旨：桜が丘の歩道は車道と段差があり、足の悪い高齢者や、シニアカー、買い物カートは車道を通っており非常に危険)

問 桜が丘の歩道は段差があり波打っており、足の悪い高齢者は歩きづらい。車庫の入り口の車道側に置かれている段差解消のスロープは厳密に言えば道交法違反。一挙には無理でも人通りの多い場所から計画的にバリアフリー化、段差解消をしていくべきではないか。

答 根本的に段差を解消することは容易ではない。
新たに歩道を新設する場合は段差の小さい歩道を整備する。



桜が丘中央再開発

(質問趣旨：赤磐市の中心地である桜が丘中央が廃店舗と市の遊休地のままになっている)

問 桜が丘中央再開発のネックであった民有地の地権者は大和ハウスⅠ社だけになった。赤磐市の所有地と、隣接するこの民間の店舗跡地を赤磐市の意向も示して一体的に再開発し、赤磐市のランドマークになるような再開発ビジョンを示さないか。

答 現時点では大和ハウスから今後の利活用の方向性が明らかにされていない。今後の検討状況に応じて協議していく。



市民会館（文化センター）

（質問趣旨：赤磐市民全体を対象としたイベントができる市民会館は未来永劫必要ないか）

問 500人以上収容の文化ホール建設は赤磐市自治連合会からの毎年の行政要望事項。二十歳の集いはパイプ椅子にスリッパ履き。振り袖、スーツ姿の青年の晴れ姿には全く不釣り合い。赤磐広報大使の福田廉之助さんのコンサートは、パイプ椅子を追加しても足りず、多くの方の入場をお断りした。多目的ホールを備えた市民会館は必要ないのか。

答 市民会館（文化センター）が必要な施設という認識はしているが、財政的にも早期の新設は困難と言わざるを得ない。



パイプ椅子にスリッパ履きの二十歳の集い



聴衆を収容しきれない交流センター



吹奏楽団が乗りきらない舞台

赤坂地区の閉校予定学校の利活用計画

（質問趣旨：赤坂地区の軽部、笹岡小学校は1年後に閉校が決定している。）

問 1年後には遊休資産になる。このまま放置すれば民間企業であれば経営責任を問われかねない。通信制高校や美術館に活用してはという提案もある。小学校跡の利活用計画は。

答 現時点で軽部小学校、笹岡小学校の利活用については決まっていない。今後、地域の方々と意見を交えながら合意形成を図って決めていきたい。

市立通信制高校開設

（質問趣旨：学びの場の多様化がいわれるが、市立の通信制高校を開設しないか）

問 学校に行けない子供は、学校という場所が自分の教育の場としては不適切だということを言葉ではなく行動で示しているだけ。教育の場を学校だけに限らず、子供に寄り添った場を整備すべき。小・中学校までは特別支援学級とか通級指導教室があるが、中学校を卒業すればそのような子供が頼れるのは通信制高校だけ。山陽西小学校等の空き教室を活用すれば建設費はかからない。やる気さえあればできる。赤磐市立通信制高校を開設しないか。

答 開設にあたっては法手続き、教育課程の策定、サポート体制構築等が必要となる。私立通信制高校がある中で、公立である必要性も含めて慎重に検討していく。

備前国分寺跡、両宮山古墳周辺整備

（質問趣旨：せめて進入道路、駐車場、トイレは整備しないか）

問 教育委員会の事務点検評価書では、毎年「備前国分寺跡は隣接する両宮山古墳や周辺地域も含めて一体的に歴史公園等に整備することが求められる」としている。今の状態では市外の観光客はおろか、市民でさえ行きたいとは思わない。

答 令和7年度から、備前国分寺跡の僧房地区の基礎部分復元整備を進める計画。観光資源としての利活用についてはその整備状況を見ながら検討する。

